

事業名	病害虫防除支援事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	稲病害虫広域集団防除事業実施要領	事業期間	開始年度	S53	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	水稻病害虫の予防・駆除のため、広域集団防除を支援する。
------	-----------------------------

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	防除を実施することにより、水稻の安定生産と品質の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		反収（県南部）	kg/反	518	518	507		
		作況指数（県南部）	%	102.0	102.0	103.0		
		農産物販売金額	億円	21	21	22	22	23

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 各協議会が実施した広域集団防除事業に対し、補助金の交付 手続きを行い、補助金を交付した。 (広域防除協議会の活動) 無人ヘリ等による水稻広域集団防除を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		広域防除団体数	団体	7	7	7
		広域防除実面積	ha	1,049.6	996.6	983.6
		事業費計	千円	3,000	3,000	3,000
		一般財源	千円	3,000	3,000	3,000
		特定財源 (国・県・他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓ 選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	広域での防除作業を実施することにより、病害虫被害を予防でき、 出荷額の増加につながる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		反収 (県南部)	kg/反	518	518	507	値が大きいほど良い	効果が下がった
		作況指数 (県南部)	%	102.0	102.0	103.0	値が大きいほど良い	効果が上がった
		農産物販売金額	億円	20	20	22	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果 (自動判定)									
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標		費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	0指標			費用の増減無し	○			
	効果が下がった指標数	1指標			費用が増加した				
	指標全体	効果が上がった							

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
個人での防除実施は、作業負担の観点から難しく、また、昨今の環境への配慮の観点からも、一斉実施が現実的となっている。 薬剤散布に関する安全性への関心が高まり、散布する薬剤の内容、人体への影響等に関する問い合わせが、市及び事業実施主体に寄せられている。									
（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組									
					取組説明				
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）					現状維持				

事業名	J A 佐野農業まつり支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課		J A 佐野農業まつり支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	なし		開始年度	S57	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要

佐野市における農業の振興と農畜産物の自給安定を図るため、農業まつりを通じ農業生産意欲の向上・生産組織の強化と併せて商工業との連携、生産者と消費者との交流を深めることを目的とする

(2) 目的

目的

(本事業によって成し遂げたい状態)

生産者、生産団体と消費者との交流を深める。

効果指標

単位

R3

R4

R5

R6

R7

まつりの来場者数

人

-

-

-

35,000

35,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	農業まつり中止のため、なし	活動指標	単位	R3	R4	R5
		なし	-	-	-	-
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	農業まつり中止のため、なし	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		まつりの来場者数	人	-	-	-		#VALUE!

(5) 費用対効果結果（自動判定）					※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標				費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	○	
	効果は変わらない指標数	0指標						
	効果が下がった指標数	0指標						
	指標全体	効果は変わらない						

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
特になし									
(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組									
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）					取組説明				
					現状維持				

事業名	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課		とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		街道推進協議会参画事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

事業概要	食をテーマとした新たな地域資源を発掘し、文化や景観などと結び付けて栃木県のブランド化を図り、全国に発信するため、農産物や観光等の様々な産業分野の視点を活かして「食の街道」づくりの推進を目的とした協議会へ負担金を支出し、各種会議・研修会に参加し、地域活性化に取組んでいる。
------	---

(2) 目的		(3) 目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会の活動を通して、農産物を活用した本市のイメージアップ、地域の活性化を推進する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加団体数	団体	36	36	36	36	36
		会議等の参加者数	人	22	24	20	20	20
		ガイドマップ等の発行部数	部	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会に負担金の支出、会議出席を行った。 (とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会の活動) 会議や研修会、情報誌作成事業を行い、地域活性 パンフレット、情報誌の作成、各種PR事業など。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議等の開催	回	2	2	5
		ガイドマップ等の発行	回	1	2	0
		事業費計	千円	50	100	100
		一般財源	千円	50	100	100
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		参加団体数	団体	34	36	35	値が大きいほど良い	効果が下がった
		会議等の参加者数	人	22	22	29	値が大きいほど良い	効果が上がった
		ガイドマップ等の発行部数	部	25,000	25,000	10,000	値が大きいほど良い	効果が下がった
		施設園芸取扱量	t	1,200	1,206	1,216	値が大きいほど良い	効果が上がった

5）費用対効果結果（自動判定）											
費用（R5とR4の一般財源増減）			費用の増減無し			※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数		2指標		費用	費用は下がった	効果が上がった		効果が変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数		0指標			費用の増減無し	○				
	効果が下がった指標数		2指標			費用が増加した					
	指標全体		効果は変わらない								

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題
特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 現状維持

事業名	園芸大国とちぎづくりフル加速推進事業	実施計画事業or一般事業		実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	園芸大国とちぎづくりフル加速 推進事業実施要領	事業期間	開始年度	H28	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要									
事業概要	園芸生産拡大を目指して事業に取り組む農業団体に、収量増加に必要な施設整備に対して支援を行う。								
（２）目的					（３）目標値				
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	園芸農家の園芸作物の生産・販路拡大を促進し、園芸農家の経営の安定を図る。	効果指標		単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設園芸・果樹栽培農家数		戸	131	131	131	131	131
		販売農家数（農林業センサス）		戸	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
		施設園芸取扱量		t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	パイプハウス他栽培用施設一式 申請件数 2件 付帯設備（光合成促進機）他 申請件数 2件	活動指標	単位	R3	R4	R5
		受益者数	人	9	5	3
		補助対象面積	a	100.4	114	173.3
		事業費計	千円	17,375	7,509	5,163
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	17,375	7,509	5,163
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		施設園芸・果樹栽培農家数	戸	130	131	129	値が大きいほど良い	効果が下がった
		販売農家数（農林業センサス）	戸	1,019	1,019	1,019	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		施設園芸取扱量	t	1,200	1,206	1,216	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果 (自動判定)										
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し			※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標				費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標					費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	1指標					費用が増加した			
	指標全体			効果は変わらない						

事業名	環境保全型農業直接支払事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課		環境保全型農業直接支払事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	栃木県環境保全型農業直接支援対策費補助金交付要領		開始年度	H23	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動に対して直接支援を行う。 （交付額）10 aあたり・国費6,000円、県費3,000 円、市費3,000円 国費・県費分は、市費分と合わせて対象者へ交付。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	環境への負荷低減に取り組む農家（施設園芸農家・果樹農家を含む）が安定した経営ができています。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		有機農業対象農地	a	648	648	648	648	648
		対象団体加入農業者等数	戸	6	6	6	6	6
		事業取組農業者団体数目標	件	1	1	1	1	1
		対象農地/事業対象農業者団体の全耕作農地	%	100	100	100	100	100
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R 5 年度に行った主な活動内容）	（市の活動） 事業実施へ向けた取組団体への指導。 補助金の交付手続きを行い、補助金を交付。 （協議会の活動） 事業実施に向けた会員同士の協議、総会開催。 事業取り組み、補助金申請、事業報告、補助金請求。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		事業取組農業者団体数目標	件	1	1	1
		事業対象農業者団体の全耕作農地	a	662	648	570
		有機農業取組作物の種類	種類	17	20	16
		事業費計	千円	784	778	662
		一般財源	千円	196	195	165
		特定財源（国・県・他）	千円	588	583	497
		（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		有機農業対象農地	a	653	648	552	値が大きいか良い	効果が下がった
		対象団体加入農業者等数	戸	6	6	6	値が大きいか良い	効果は変わらない
		事業取組農業者団体数目標	件	1	1	1	値が大きいか良い	効果は変わらない
		対象農地/事業対象農業者団体の全耕作農地	%	98	100	96	値が大きいか良い	効果が下がった
		施設園芸取扱量	t	1,200	1,206	1,216	値が大きいか良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 （R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	2指標				
	効果が下がった指標数	2指標				
	指標全体	効果が下がった				○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

事業名	佐野市園芸振興協議会運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課		佐野市園芸振興協議会運営		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市園芸振興協議会運営 事業費補助金交付要領	事業 期間	開始年度	H 2	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市園芸振興協議会が実施する調査・研究、視察、P R 活動等の各事業を支援し、園芸生産農家の資質向上及び園芸産地としての振興を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によ って成し 遂げたい 状態)	JA佐野果樹部会員（果樹生産農家）が減農薬栽培による品質 の向上、安定生産、農作業の省力化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		加入する部会数	団体	9	9	9	9	9
		部会の会員数	人	261	261	261	261	261
		農業用廃ビニールの回収処理量	t	83	83	83	83	83
		研修会参加数	人	20	20	20	20	20
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 補助金の交付手続きを行い、補助金を交付した。 (協議会の活動) 総会、農業用廃ビニール回収処理、PR事業、視察研修等を行っ た。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		農業用廃ビニール処理対策	回	2	2	2
		研修会・視察等回数	回	0	0	1
		PR事業数	回	2	2	1
		事業費計	千円	150	150	150
		一般財源	千円	150	150	150
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		加入する部会数	団体	9	9	9	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		部会の会員数	人	261	261	245	値が大きいほど良い	効果が下がった
		農業用廃ビニールの回収処理量	t	83	81	66	値が大きいほど良い	効果が下がった
		研修会参加数	人	0	0	15	値が大きいほど良い	効果が上がった
		施設園芸取扱量	t	1,200	1,206	1,216	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	費用	費用は下がった		
	効果が下がった指標数	2指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度を取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

事業名	佐野市畜産振興協議会支援事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市畜産振興協議会規約・佐野市補助金交付規則	事業期間	開始年度	S49	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市畜産振興協議会の家畜防疫の強化、家畜衛生管理の徹底生産技術の向上及び経営の安定化を図る各種事業を支援し、本市畜産業の振興を推進する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	家畜伝染病の発生を予防する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	0	0
		畜産公害の発生件数	件	0	0	0	0	0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 畜産振興協議会の事務局としての事務、補助金の交付事務を行った。 (協議会の活動) 畜産業の振興のため、伝染病予防対策や防疫事業の推進、渡良瀬河川敷を活用した採草地育成事業、共励会の実施を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		研修会・共励会の開催回数	回	2	2	2
		消毒や害虫駆除の実施箇所数	箇所	10	10	10
		伝染病検査や予防接種の数	箇所	1	1	1
		事業費計	千円	500	500	500
		一般財源	千円	500	500	500
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	目標値を維持している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		畜産公害の発生件数	件	1	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	2指標		費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	○	
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

目標値を維持できていることから、取組みは効果的である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

事業名	佐野市認定農業者協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある農業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度	H12年度	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要

認定農業者協議会は、農業経営基盤促進法に基づく認定農業者で組織しており、農業の実践的リーダーとして地域社会の維持発展、農業経営の改善や記述の高度化に務めることを目的としている認定農業者協議会の活動を支援している。

(2) 目的

目的
(本事業によって成し遂げたい状態)

研修会を通して、農業リーダーとして地域農業の維持・発展に務める。農業経営の改善や農業技術の高度化を実践する。

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
研修会の参加人数	人	0	0	40	40	40

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	(佐野市認定農業者協議会の活動) 総会 (5/18) ※書面決議 役員会 (5月、8月) 視察研修 (10/12) 農業week ・認定農業者数(R6.3.31現在) 240経営体(個人202名 法人38団体) ・認定農業者協議会会員数 (R6.3.31現在) 110経営体 (個人94 法人16)	活動指標	単位	R3	R4	R5
		研修会の開催回数	回	0	0	1
		事業費計	千円	0	0	120
		一般財源	千円	0	0	120
		特定財源 (国・県・他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓ 選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	認定農業者としての自覚と意欲を持ち、地域社会の維持発展と安定の寄与するとともに、農業の実践的リーダーとして農業経営の改善と高度化に努め、併せて会員相互の交流を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		研修会の参加人数	人	0	0	17	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果 (自動判定)									
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用が増加した		※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標					効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標							
	効果が下がった指標数	0指標							
	指標全体	効果が上がった							
費用	費用は下がった								
	費用の増減無し								
	費用が増加した	○							

4. 次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
認定農業者協議会への加入率が他市に比べて低いため、加入促進を図る必要がある。									
（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組									
				取組説明					
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）						協議会の利点などをPRすると共に、役員等の負担軽減を図る。			

事業名	佐野市農業再生協議会支援事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	経営所得安定対策等実施要綱・経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱・佐野市補助金交付規則		開始年度	H24	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	需要に応じた米づくりの推進を通じて水田農業経営の安定と発展を図るため、水田の利活用の強化に取り組む佐野市農業再生協議会の活動に加わり、水田農業の構造改革を推進する。 なお、この佐野市農業再生協議会は、「経営所得安定対策」の本市における円滑な実施に事務協力する組織である。
------	--

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	主食用米の生産目標数量内に作付を抑制する。 経営所得安定対策への加入者を増加させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水稻作付面積／基準水田面積	%	37.9	33.75	33.72		
		水稻作付面積／配分面積	%	76.4	76.7	76.5		
		農産物販売金額	億円	20.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 佐野市農業再生協議会に補助金の支出を行った。 (佐野市農業再生協議会の活動) 年２会の総会及び幹事会の開催、米の需給調整、経営所得安定対策等に関する事務を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		水田農家数	戸	4,761	4,590	4,491
		基準水田面積	ha	3,270	3,263	3,244
		配分面積	ha	1,621	1,430	1,430
		事業費計	千円	6,838	8,282	6,762
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	6,838	8,282	6,762
		(うち受益者負担)	千円			

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	需要調整等により、所得の安定化等が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		水稻作付面積／基準水田面積	%	37.9	33.75	33.72	値が大きいほど良い	効果が下がった
		水稻作付面積／配分面積	%	76.4	76.7	76.5	値が大きいほど良い	効果が下がった
		農産物販売金額	億円	20.0	20.5	22.0	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	2指標				
	指標全体	効果が下がった				

費用

費用は下がった
費用の増減無し
費用が増加した

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

国で定めた経営所得安定対策の制度内容が毎年少しずつ変更されていることに伴い、米等に関する政策も変更されている。 農業者から制度の変更など、正確かつ迅速な情報の提供を求められている。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

事業名	産地生産基盤パワーアップ事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課		産地生産基盤パワーアップ事業		款	6	新規or継続	新規事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	産地生産基盤パワーアップ事業実施要綱		開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	産地生産基盤パワーアップ事業実施要領		終了年度	－	事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進	産地生産基盤パワーアップ事業交付等要綱					
				産地生産基盤パワーアップ事業栃木県事業実施方針					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要								
事業概要	収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や生産基盤の承継に対して総合的に支援する。							
(2) 目的				(3) 目標値				
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農作業の効率化及び規模拡大による収益性の高い農業経営	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		事業対象農家の栽培面積	a			1,600	1,640	1,680
		施設園芸取扱量	トン			1,420	1,425	1,430

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	栽培施設の整備を支援することで、農作業効率化及び生産基盤 の構築（低コスト耐候性ハウスの改修等）に資する取組を行っ た。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		打合せ会議	回			2
		補助金交付手続き	式			1
		事業費計	千円	0	0	9,342
		一般財源	千円			0
		特定財源（国・県・他）	千円			9,342
		（うち受益者負担）	千円			0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		事業対象農家の栽培面積	a			1,600	値が大きいいほど良い	効果が上がった
		施設園芸取扱量	トン			1,216	値が大きいいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）									
費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標					効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標							
	効果が下がった指標数	0指標							
	指標全体	効果が上がった							
							費用	費用は下がった	
								費用の増減無し	○
								費用が増加した	

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
特になし									
（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組									
				取組説明					
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）				現状維持					

事業名	足利佐野めんめん街道推進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	足利佐野めんめん街道推進協議会規約	事業期間	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要									
事業概要	食をテーマとした新たな地域資源を発掘し、文化や景観などと結び付けて栃木県のブランド化を図り、全国に発信するため、農産物や観光等の様々な産業分野の視点を活かして「食の街道」づくりを推進を目的とした協議会へ負担金を支出し、各種会議・研修会に参加し、地域活性化に取り組んでいる。								

(2) 目的		(3) 目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	足利佐野めんめん街道推進協議会が自立した団体として地域の活性化を推進する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加団体数	団体	49	49	49	49	49
		会議等の参加者数	人	22	22	22	22	22
		見学体験ツアーの参加者数	人	20	20	20	20	20
		農産物販売金額	億円	21.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績					（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 足利佐野めんめん街道推進協議会に対して負担金を支払った。幹事会及び総会に参加した。他の会議は、書面決議で行った。 (協議会の活動) パンフレットの作成、P R イベントへの参加、研修会の実施等。	活動指標	単位	R3	R4	R5			
		会議等の開催	回	1	3	1			
		見学体験ツアーの実施	回	0	1	1			
		事業費計	千円	100	100	100			
		一般財源	千円	100	100	100			
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0			

（３）活動による効果					（４）事業効果を説明する数値データの推移				
効果説明 (定量及び定性)	中山間地域が活性化されている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
		参加団体数	団体	49	48	48	値が大きいほど良い	効果は変わらない	
		会議等の参加者数	人	22	22	14	値が大きいほど良い	効果が下がった	
		見学体験ツアーの参加者数	人	0	18	32	値が大きいほど良い	効果が上がった	
		農産物販売金額	億円	20.0	20.5	22.0	値が大きいほど良い	効果が上がった	

(5) 費用対効果結果 (自動判定)										
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断				効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標						効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標						○		
	効果が下がった指標数	1指標								
	指標全体	効果が上がった								
費用	費用は下がった									
	費用の増減無し									
	費用が増加した									

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
特になし									

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組									
					取組説明				
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）					現状維持				

事業名	栃木県畜産協会参画事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	栃木県畜産協会定款	事業期間	開始年度	H13	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要								
事業概要	栃木県畜産協会の家畜防疫をはじめとする畜産振興事業に正会員として参画し、市内畜産業の推進を図る。							
(2) 目的		(3) 目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	家畜伝染病の発生を予防する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 栃木県畜産協会に負担金を支出した。 (栃木県畜産協会の活動) 経営指導事業として各種研修会や補助事業の実施、家畜衛生 事業として予防接種ワクチンの購入費補助事業、肉畜価格の安 定事業等を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議等参加	回	1	1	1
		事業費計	千円	20	20	20
		一般財源	千円	20	20	20
		特定財源 (国・県・他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓ 選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	目標値を維持している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果 (自動判定)									
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標			費用の増減無し				
	効果が下がった指標数	0指標			費用が増加した				
	指標全体	効果は変わらない							

4. 次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
目標値を維持できていることから、取組みは効果的である。									
（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組									
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）				取組説明					
				現状維持					

事業名	農業災害対策特別措置事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	農政課				款	6	新規or継続	新規事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	栃木県農漁業災害対策特別措置条例	事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要	
事業概要	令和５年７月１０日の降雹及び強風により傷を受けた果樹等の栽培農家を支援し、生産力の維持及び経営の安定を図る。

（２）目的		（３）目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	令和５年７月１０日の降雹及び強風により傷を受けた果樹等の栽培農家を支援し、生産力の維持及び経営の安定を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設園芸取扱量	t			1,425		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績		（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	病害虫防除用農薬購入費等補助 補助率 栃木県50% 市50%（上限あり） 申請者 梨農家 13件 桃農家 3件	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助件数				16
		事業費計	千円	0	0	107
		一般財源	千円			54
		特定財源（国・県・他）	千円			53
		（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果		（４）事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び定性)	単年度事業であることから成果向上は図れない	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		施設園芸取扱量	t			1,216	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）		※ １０万円以上の増減により判断			効果		
費用（R5とR4の一般財源増減）	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題	
単年度事業のため特になし	

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	単年度事業のため

事業名	農地利用効率化等支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ 該当あり

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある農業で賑わう活力あるまちづくり	農地利用効率化等支援交付金実施要綱	事業期間	開始年度	H25	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要									
事業概要	農業における中心経営体等が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械や施設の導入等について支援する。								
（２）目的					（３）目標値				
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	中心経営体の経営規模拡大や、経営の多角化を支援する。				効果指標	単位	R3	R4	R5
					規模拡大・経営の多角化をした経営体数	経営体	-	5	5

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	令和 5 年度 実績無し	活動指標	単位	R3	R4	R5
		調査回数	回	-	1	1
		確認検査回数	回	-	3	0
		事業費計	千円	0	8,420	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	0	8,420	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓ 選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	中心経営体が、農業用機械等を導入することにより、規模拡大・ 付加価値の増加ができるように貢献する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		規模拡大・経営の多角化をした経営体数	経営体	-	3	0	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果 (自動判定)									
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果			
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	0指標							
	効果が下がった指標数	1指標						○	
	指標全体		効果が下がった						
費用	費用は下がった								
	費用の増減無し								
	費用が増加した								

4．次年度に向けた検討

（１） 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

事業の制度設計が実情と合っておらず、要望があっても申請することができなかった。

（２） 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table><tr><th>取組説明</th></tr><tr><td>現状維持</td></tr></table>	取組説明	現状維持
取組説明			
現状維持			

事業名	減農薬のための性フェロモン剤導入支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課		減農薬のための性フェロモン剤導入支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市減農薬のための性フェロモン剤導入事業費補助金	事業期間	開始年度	H5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	交付要領		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市内で生産される果樹の品質向上及び安定生産を図るため、性フェロモン剤の導入を支援し、減農薬による環境保全型農業を推進する。
------	---

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	JA佐野果樹部会員（果樹生産農家）が減農薬栽培による品質の向上、安定生産、農作業の省力化を図る。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
J A 佐野果樹部会農家数	戸	43	43	43	43	43
性フェロモン剤導入農家割合	%	50	50	50	50	50
施設園芸取扱量	t	1430	1420	1425	1430	1435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R5年度に行った主な活動内容）	（市の活動） JA佐野果樹部会に対する補助金交付手続きを行い、補助金を交付した。 （JA佐野果樹部会の活動） 会員農家に対し、性フェロモン剤導入事業（24ha）を実施した。
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
性フェロモン剤導入農家数	戸	23	21	20
性フェロモン剤使用面積	a	2500	2500	2400
性フェロモン剤使用量	本	18090	16280	14680
事業費計	千円	300	300	299
一般財源	千円	300	300	299
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。
------------------	------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
J A 佐野果樹部会農家数	戸	43	43	42	値が大きいほど良い	効果が下がった
性フェロモン剤導入農家割合	%	53.4	50	47.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
施設園芸取扱量	t	1200	1206	1216	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 （R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	2指標				
	指標全体	効果が下がった		費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			○
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 現状維持
---	------------------

事業名	佐野市農業再生協議会参画事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課		佐野市農業再生協議会参		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		画事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	経営所得安定対策等実施要綱・経営所得安定対策等推進		開始年度	H16	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	都市型農業の推進	事業費補助金交付要綱					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	需要に応じた米づくりの推進を通じて水田農業経営の安定と発展を図るため、水田の利活用の強化に取り組む佐野市農業再生協議会の活動に加わり、水田農業の構造改革を推進する。 なお、この佐野市農業再生協議会は、「経営所得安定対策」の本市における円滑な実施に事務協力する組織である。
------	--

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	主食用米の生産目標数量内に作付を抑制する。 経営所得安定対策への加入者を増加させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水稻作付面積／基準水田面積	%	37.9	33.75	33.72		
		水稻作付面積／配分面積	%	76.4	76.7	76.5		
		農産物販売金額	億円	20.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 佐野市農業再生協議会に負担金の支出を行った。 (佐野市農業再生協議会の活動) 年２回の総会及び幹事会の開催、米の需給調整、経営所得安定対策等に関する事務を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		水田農家数	戸	4,761	4,590	4,491
		基準水田面積	ha	3,270	3,263	3,244
		配分面積	ha	1,621	1,430	1,430
		事業費計	千円	2,200	2,200	2,200
		一般財源	千円	2,200	2,200	2,200
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	需要調整等により、所得の安定化等が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		水稻作付面積／基準水田面積	%	37.9	33.75	33.72	値が大きいほど良い	効果が下がった
		水稻作付面積／配分面積	%	76.4	76.7	76.5	値が大きいほど良い	効果が下がった
		農産物販売金額	億円	20.0	20.5	22.0	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	費用	費用は下がった		
	効果が下がった指標数	2指標		費用の増減無し		○
	指標全体	効果が下がった		費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

国で定めた経営所得安定対策の制度内容が毎年少しずつ変更されていることに伴い、米等に関する政策も変更されている。 農業者から制度の変更など、正確かつ迅速な情報の提供を求められている。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

事業名	農業用廃ビニール処理対策支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課		農業用廃ビニール処理対策		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市農業用廃ビニール処理対策費支援事業費補助金	事業期間	開始年度	H5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進	交付要領					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき使用済農業用生産資材（農業用廃ビニール等）の野焼き・不法投棄等不適切処理を防止し、健全な園芸産地の育成を図るために廃棄物の回収・再生処理を指導・支援する。もって循環型社会の実現に寄与する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農業者（施設園芸農家・果樹農家）が不法投棄・不法な野焼き等を行わないように防止し、適正処理によるごみの発生抑制と環境保全を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		排出農家数（延農家数）	人	312	312	312	312	312
		廃ビニールの野焼き苦情件数	件	0	0	0	0	0
		廃ビニールの不法投棄苦情件数	件	0	0	0	0	0
		施設園芸取扱量	t	1430	1420	1425	1430	1435

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 佐野市園芸振興協議会に補助金を交付した。年2回の廃ビニール回収作業に参加。 (佐野市園芸振興協議会の活動) 農業用廃ビニールの回収を年2回（7月、11月）実施し、約66トン进行回収し、業者にその後の処理を委託した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助金交付手続	件	1	1	1
		廃ビニール回収処理実施回数	回	2	2	2
		廃ビニールの回収処理量	t	83	81	66
		事業費計	千円	80	80	80
		一般財源	千円	80	80	80
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		排出農家数（延農家数）	人	311	312	300	値が大きいほど良い	効果が下がった
		廃ビニールの野焼き苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		廃ビニールの不法投棄苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		施設園芸取扱量	t	1200	1206	1216	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	2指標		費用	費用は下がった	費用の増減無し
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持